

2009年（平成21年）2月12日

株式会社大広
総務人事局 広報部

株式会社大広 「ちびファミ・ラボ」 プロジェクト

妊娠～乳児を持つプレママ、ママの生の声を短期間に収集できる

定性調査モニター「ちびファミ・モニター」を組織化。

株式会社大広（社長：高野 功）は、2008年6月に発足した「ちびファミ・ラボ」プロジェクト（*）の活動の1つとして「ちびファミ・モニター」を組織しました。

「ちびファミ・モニター」は、グループインタビューを行うことが難しい層とされている〈妊娠～乳児を持つプレママ、ママ〉を定性調査のモニターとして組織。少数モニターとしたことにより、最短1週間で調査から分析レポートまでを行うことが可能となりました。

大広は「ちびファミ・モニター」を活用することで、お取引先に対しベビー&キッズカテゴリーの商品提案やコミュニケーション開発、ブランディング、セールスプロモーションなど、「ちびファミ・ラボ」の活動領域においてより精度の高いソリューションを提供してまいります。

「ちびファミ・モニター」の概要と、第1回調査レポートの内容は、以下の通りです。

記

【ちびファミ・モニターとは？】

●「ちびファミ・ラボ」が組織した、妊娠中～2歳の子供を持つプレママ、ママの定性調査モニターです。「ちびファミ・モニター」では、ネット会議室を活用することで、モニターの生の声をタイムリーに収集することを可能にしました。

●ちびファミ・モニターの特徴

1. ママだけでなくプレママも含んでおり、また子どもの年齢別にモニターをセグメントできることです。お取引先のニーズに合わせてモニターを組み合わせることが可能です。

2. モデレーターも育児中のリアル・ママであることです。「育児中」というモニターと同じバックグラウンドを持つモデレーターが、より現実味のある質問を投げかけることで、モニターのインサイトを効率的に引き出すことができ、調査開始から短期間での分析レポートが可能となっています。

【ちびファミ・モニターの属性・人数】

居住エリア：首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）

モニター数：妊娠中～2歳までのママ 20名（有職ママ7名、専業ママ6名、プレママ7名）。

* モニターには出産間近なプレママも含まれており、出産前後で生の声を拾うことも可能です。

（*）【ちびファミ・ラボとは】

妊娠中の夫婦（プレママ&プレパパ）、そして0～6歳の乳幼児の親（パパ&ママ）の育児に関する意識と行動を把握し、リアリティのあるインサイトと、データに基づいた提案を行うことで同領域でマーケティング活動を行う取引先のマーケティングソリューションパートナーを目指すプロジェクトです。

以 上

●リリースに関するお問合せは下記までお願いいたします。
株式会社大広 総務人事局広報部 遠藤、長谷川
TEL:03-6364-8601

【ちびファミ・モニター 第1回調査レポート ～プレママ、ママのボディ&スキンケア～】

妊娠～産後にかけて、
ボディ&スキンケアのブランドスイッチのチャンスは5回?!

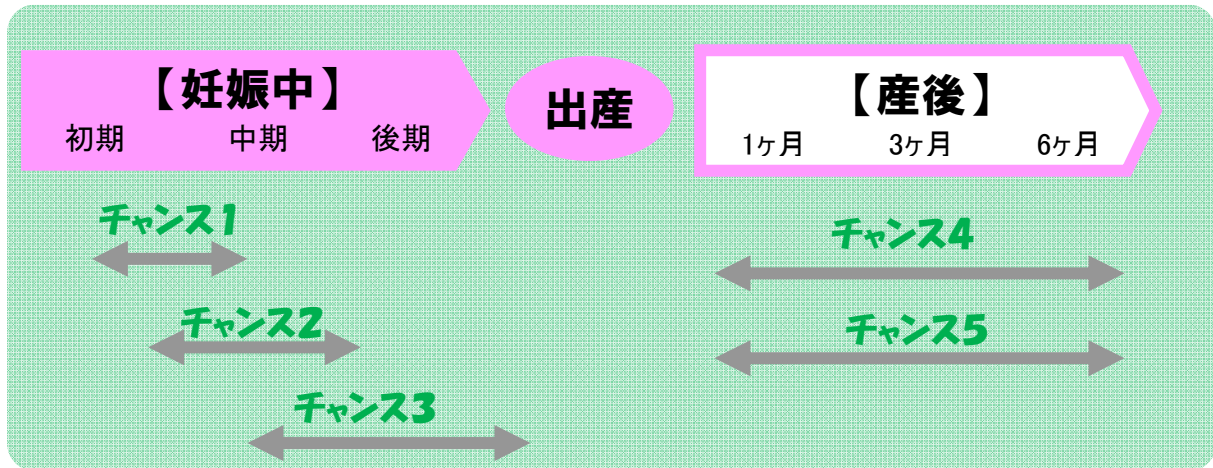
【アンケート結果サマリー】

- ◆ 【今回のモニターアンケートから、妊娠～産後にかけてのボディ&スキンケアにおいて、ブランドスイッチや、新たな商品を使用しはじめるチャンスは5回ある、ということが分かった。それは妊娠初期の「肌変化対策」「つわり対策」（いずれもスキンケア）、妊娠中期以降の「身体のかゆみ対策」（ボディケア）、産後の「乾燥対策」（ボディ&スキンケア）、「クイックスキンケア対策」（スキンケア）の5つである。

【アンケート内容】

妊娠中～出産後のプレママ、ママのお肌の変化について、質問を行いました。

- ◆ 妊娠中～出産後でのお肌に関するトラブルの有無とその時期。
- ◆ お肌のトラブルへの対処方法
- ◆ あなたにとってのスキンケアタイムとは？



- ◆ 一つ目のチャンスは「肌変化対策」。プレママ期はホルモンバランスの変化により、肌が変わりやすくなるため。「乾燥しがち」や「ニキビ」がママ、プレママたちの実感としてあげられた。
- ◆ 二つ目のチャンスは「つわり対策」。スキンケアの際、商品の香りが気になり使用ブランドを変えた、という声があった。
- ◆ 三つ目のチャンスは「身体のかゆみ対策」。プレママ期では、お腹が大きくなるにしたがって「肌のかゆみ」が出てくるケースが多い。妊娠線ケアとその他の部位のケアで商品の使い分けをしている実態が明らかになった
- ◆ 四つ目のチャンスは「産後の乾燥対策」。睡眠不足や授乳等でママのお肌は「乾燥」しがちで、スキンケア、ボディケアともに保湿ケアのニーズがアップする。
- ◆ 五つ目のチャンスは「クイックスキンケア対策」。産後は赤ちゃんのケアに追われて自分のスキンケアは後回しになりがち。短時間のケアで高いスキンケア効果を得られる商品のニーズがある。